

第10回『ペリネイタル・ロス看護者研修プログラム』のご案内

周産期に子どもを失う経験をする親は少なくありません。親、家族の受けた喪失感や悲嘆をケアする立場にある助産師、看護師、保健師、医師その他のグリーフに関わる立場に立つ人が必ずしも十分な理解と訓練を受ける機会がないのが現状です。その結果、悲嘆の中にある親、家族に必要なケアがされず、結果として喪失感や悲嘆は病的な心の問題となる場合もあります。

このプログラムは聖路加国際大学ペリネイタル・ロス研究会、静岡県立大学教授太田尚子先生によって開発されたもので、関東を中心として実施されて多くの医療者の学びに貢献してきました。2009年から北九州市において毎年この研修を、その4か月後にフォローアップ研修を開催し、参加された方が多くの実りを持って職場に帰られました。

第10回研修を以下の内容で開催いたします。流産・死産・新生児死の家族のケアに当たる医療者・支援者の学びを目的とするワークショップです。このワークショップを通して西日本でも流産・死産・新生児死等を経験した家族への温かい看護や医療や社会的サポートが充実していくことを心から願っています。

2018年2月

東アジアグリーフの集い実行委員会

事務局 〒802-0811 北九州市小倉南区重住1-4-13

- 1 講師 聖路加国際大学ペリネイタル・ロス研究会 太田尚子先生、石井慶子先生、蛭田明子先生、北園真希先生
東アジアグリーフの集い実行委員会 吉田 静先生

2 主な内容

研修Ⅰ ケアに取り組むための知識、態度、スキルを学ぶ研修プログラム。ファシリテーターを中心に、講義〔ペリネイタル・ロスのグリーフ〕・〔赤ちゃんを亡くした家族のケア〕等。ペリネイタル・ロスのケア〔体験者の話〕等

研修Ⅱ(フォローアップ研修) ケース検討 ペリネイタル・ロスと次の妊娠 家族へのグリーフケア 他

- 3 参加対象 助産師、看護師、保健師、医師 他。

- 4 参加定員 24名

- 5 期日 研修Ⅰ 2018年7月15日(日)～16日(月)(10時から17時まで)

- 研修Ⅱ 2018年 日にち未定(10時から17時まで)

(研修Ⅰに参加した方は研修Ⅱへのご参加もお勧めいたします。)

- 6 会場 北九州市総合保健福祉センター(アシスト21)2階(講堂)北九州市小倉北区馬借1-7-1 駐車場なし

- 7 参加費 25,000円(研修Ⅰ参加費)

(研修Ⅱにも参加される方は、12,000円を別途、研修Ⅱの当日にお支払いいただきます)

- 8 申し込み方法 お名前・住所・連絡方法・職種・所属(産科/NICU/他の別)・臨床経験年数を明記し下記のfax番号へお申し込み下さい。参加費のお振り込みを確認した上で参加の受諾とし、準備等に関する詳しい内容のご連絡をします。

fax 0947-42-2058 (田川事務局 吉田静宛)

*問い合わせは e-mail takeday@khc.biglobe.ne.jp (武田まで)

- 9 参加費振り込み先 西日本シティ銀行城野支店 普通口座 口座番号1758503

東アジアグリーフケアセミナー 代表 武田康男

- 10 申し込み締め切り 定員に達した時点

主催 東アジアグリーフの集い実行委員会 / 後援 福岡県産婦人科医会(予定)

第10回『ペリネイタル・ロス看護者研修プログラム』

参加申込書

平成 年 月 日

あて先

FAX : 0947-42-2058

フリガナ

お名前 _____

職種（助産師・看護師・保健師・医師・その他）

所属 _____（産科・NICU・その他()）

臨床経験年数 _____

ご住所（〒 _____）

連絡方法 電話番号（自宅または職場）

携帯電話番号

mail _____

- * ご住所は勤務先でなくご自宅を、メールアドレスは楷書で記入し、fax は一人一枚でお申し込みください。
 - * 携帯電話メールアドレスの場合、事務局からのメールを迷惑メールと判断され、お手元に届かない場合があります。
- その場合、電話連絡させていただきますのでお忘れなくご記入くださいますようお願いいたします。